

がくしゅうかだい（1ねんせい）



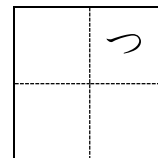
【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆「ねこと ねっこ」（きょうかしよ 46～47 ページ）をがくしゅうします。

(1) 46 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましょう。

(2) 47 ページに、でていることば「ねこ」「ねっこ」をよんでみましょう。そのあと、ノートやとりくみシートに3かいずつ れんしゅうしましょう。



※「っ」は、ちいさくつまったおとになります。

かくときは、みぎうえのちいさなますのなかに、かきます。

(3) 47 ページ「きつね」「きって」「はらっぱ」「いっぴき」「てっぺん」「しっぽ」をよんでみましょう。そのあと、ノートやとりくみシートに3かいずつれんしゅうしましょう。

※43 ページをみて、かきじゅん どれにかいてみましょう。

(4) 47 ページのぶん「ばったは、むしです。」をよんでみましょう。そのあと、ノートやとりくみシートに、ぶんをうつします。

ばった は、むし です。

※「は」は、ことばとことばを、つなげるはたらきがあります。

このときの「は」のよみかたは、「わ」とおなじおとになります。

(5) 46～47 ページにのっている「っ」のつくことばのほかにも、「っ」がつくことばをさがして、ノートやとりくみシートにかきます。

(6) ことばと ことばをつなぐ「は」をつかってぶんを かんがえ、ノートやとりくみシートにかきましょう。ぶんは、いくつかいてもいいです。

は、 です。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆「ねこと ねっこ」では、促音「っ」について学習をします。

・「ねこ」「ねっこ」の発音は、「ね・こ」が2拍に対して、「ね・っ・こ」は3拍になります。「っ」の含むことばの発音を伝えるときは、「ね・っ・こ」をゆっくり発音して違いを感じさせてあげてください。

・音と文字とのつながりを考えられるよう、教科書P47の言葉を一つ読み、どの言葉を読んだのか、言葉を指さして当てるクイズ形式の学習方法もあります。

【さんすう】

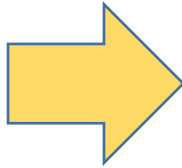
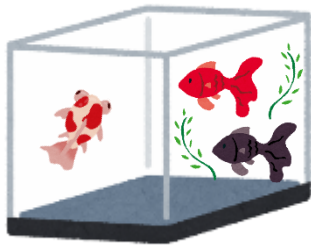
「※」はべんきょうするときの せんせいからの あとばいす アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 43～45 ページ）

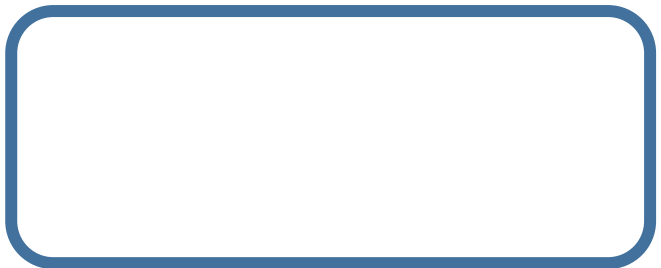
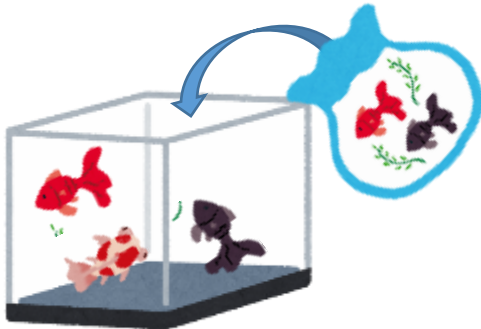
ふえるといくつになるかな？
おはなしの とおりに ぶろっく ブロックをおいて うごかしてみよう

(1) すいそうに きんぎょが、 3びきいます。

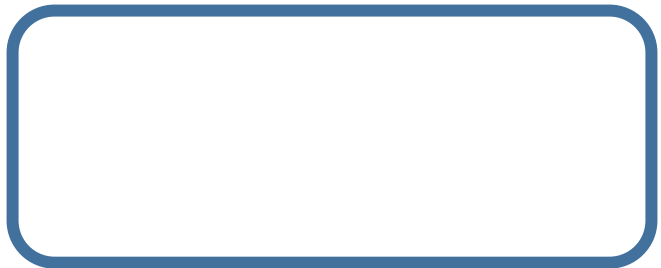
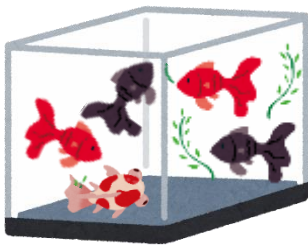


※わくのなかに ブロックをおきます。

(2) きんぎょが 2ひきふえました。



(3) ぜんぶで ひきになりました。



おはなしに あわせて
ブロックを うごかすことが できるかな？

3あって 2ふえると、 5になります。
これを さんすうのことば であらわすと…

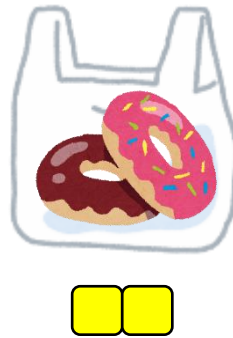
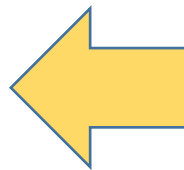
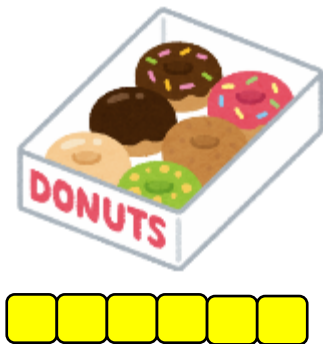
しき $3 + 2 = 5$

こたえ 5 ひき

えをみて たしざんの しきに かきましょう。

はじめにドーナッツが6こ

ドーナッツを2こもらうと



$$\square + \square = \square$$

<じぶんで たしざんの しきになる おはなしを かんがえて
ノートやとりくみシートにかいてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P43～45）

- ・この課題から、たし算の学習になります。たし算の学習では、式を立てる際に、ブロックやおはじき等、他のものに置き換えて考えたり、問題場面を「式」で表したりすることを学びます。
- ・おはなしを「式」で簡単に表すことができるということを、ぜひ感じさせたい場面です。算数の学習では、1年生から、事柄や関係を簡潔に表すという式の働きを学んでいくこととなります。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてと^とり^く組み^まし^まし^よう。道^{どう}具^ぐをつ^かう^ときは、か^もたい^も物^のや^もわ^れる^も物^のは^あん^{ぜん}につ^かわ^ず、^あん^{ぜん}にお^こな^いま^しよ^う。

＜べんきょうすること＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html



◆「動物歩^{どうぶつある}き」に^とり^く組み^まし^まし^よう。

(1)①く^まあ^るき、
②ア^あザ^ざラ^らシ^しあ^るき、
③う^さぎ^とび、
④ク^くモ^ある^きに^ちャ^れん^じして^みま^しよ^う。

(2)あ^るく^はや^さや^かい^すう^回数[、]し^せい^など^を変^かえて^ちャ^れん^じして^みま^しよ^う。

(3)ほ^かの^しせ^いも^{かん}が^ちャ^れん^じ考^えて[、]ち^ャれ^んじ^して^みま^しよ^う。

① く^まあ^るき ② ア^あザ^ざラ^らシ^しあ^るき



ひ^ざを^ゆが^につ^けな^いで^ある^こう!



足^あは^ちか^らを[↓]お^ろす!

手^てだ^けで^すす^もう!

③ う^さぎ^とび ④ ク^くモ^ある^き



手^てを^まえ^につ^くう!



お^しり^をあ^げよ^う

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。